

平成 30 年度 社会福祉法人 月形町社会福祉協議会事業報告

概 況

少子高齢化・人口減少が進み、貧困や社会的孤立、人材不足等地域社会をめぐる様々な問題や生活課題が顕在化している中、地域福祉推進を主体的に行っている当社協は、あずまし計画の基本目標である「まんまるは一とで共に支え合い、安心・安全福祉のまちづくり」に向けて果たすべき役割や、様々な福祉課題の解決に向け各関係機関や各種団体や地域住民と連携・協働を図ってまいりました。

あずまし計画は 2 年目を終え、事業実施に向けた地域における支え合いの仕組みづくりとその推進に対する支援を行いました。「地域見守り推進事業」や「ふれあいサロン」を中心とした小地域福祉活動や相談体制、在宅福祉サービス提供に向けた「福祉総合相談」や「生活福祉資金貸付」、「日常生活自立支援事業等」を実施し、住民主体による地域福祉実践活動や柔軟な福祉サービスの提供が展開されました。また、介護予防・日常生活支援総合事業においては、地域の様々な資源を活用しながら町民が主体的に参画できるしくみ作りについて取り組みを行うとともに住民理解の促進を行っていきました。

社会福祉法人改革については、組織体制強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化に努めました。介護職員の離職が続き、人材確保と育成、定着支援については今後の課題となりました。地域における公益的な取組みについては、町内にある社会福祉法人等との情報交換や地域住民に向けた公益活動について協力等を行いました。

1 重点事業の実施状況

- (1) **福祉への関心を高め、理解を深める機会の提供**については、ボランティア活動の推進を中心に学生等の福祉教育や、地域住民に向けた「福祉でまちづくり事業」の実施を展開してまいりました。今年度は胆振東部地震による災害時の対応やボランティアの重要性について学ぶ機会を多くしました。また、ボランティアリーダー育成の取り組みについては、養成講座等を開催しました。
- (2) **一人ひとりの存在を大切にし、交流する機会と場をつくる**については、見守り、サロン、等の事業展開によって地域に潜在している生活課題の発見やニーズについて、福祉活動専門員、生活支援コーディネーターを中心に訪問活動を行いながら行政、関係団体、住民の

協力・連携を得ながら解決に向け努めてまいりました。各町内会ではふれあいサロン活動、全町民対象のあずまし茶屋やあずまし食堂が活発に行われ、住民主体による参加運営がされています。

(3) 困りごとに気づき、必要なサービスを提供するについては、身近な地域で福祉の悩みごと等が相談できる総合相談や権利擁護事業について、住民周知等に向け実施しました。そのことにより、制度だけでは対応が難しい方々や低所得者支援を必要とする方々の発見に繋がり、問題解決に向けて貸付制度の活用や就労支援等を関係団体との連携を行いました。

福祉サービス事業については、訪問介護事業・障がい者地域活動支援センター事業に取り組み要介護者及び要支援者等に対して支援サービスの充実に努めてまいりました。利用者は昨年度より減員となり、事業運営は厳しい状況となりました。「生活支援サービス」の実施については、周知不足もあり、利用者の利用には大きく繋がりませんでした。介護予防・日常生活支援総合事業については、生活支援協議会の実施、買い物支援やボランティア育成等を行い関係機関・団体と積極的に取り組みをしました。

(4) 各機関・団体との協働と社会資源づくりについては、あずまし計画の実施・評価、社会福祉法人の地域公益的な活動について、町民や関係機関の協力のもと事業実施に取り組みました。また、月形町交流センターの指定管理者として管理、運営に努め、住民へのサービス向上を図ってまいりました。法人運営については、限られた財源の中で効率的で効果的な事業運営を図るため、専門職員の配置、事務事業の見直し等経費の節減・合理化に努め、運営充実に努めてまいりました。

2 事業実施状況

(1) 地域福祉推進事業

社会福祉協議会が行う地域福祉活動の取組みや推進事業の情報を広く町民の皆様に紹介し地域福祉推進役としての社協の役割、相談機能を確認し、各関係機関等との協力を努めました。

★ 心配ごと相談所の開設 土・日・祝祭日を除く開設し、民生委員との連携のもと住民相談に努めました。

相談件数 なし

★ 総合相談

専門職による総合相談を、行政、民生委員、町内会、関係機関等と対応しました。

相談件数 6 件(実人数 6 名) 昨年度 4 件

内容 生活福祉資金貸付相談、介護保険等申請、障害サービス利用について、
生活保護申請、母子家庭就学費の貸付等

★ 社協だよりの発行

ホームページは毎月更新し、情報発信を行いました。広報は 7、10、12、3 月発行し、全戸に配布しました。合わせて、道社協のホームページに掲載しました。

★ 生活福祉資金の貸付 貸付件数 2 件(前年度+1 件)

貸付者 2 名(前年比+1 人)／貸付額計 100,000 円

道生活福祉資金貸付相談 (就学資金) 1 件

★ 北海道共同募金会月形町共同募金委員会への協力

各行政区、町内会、学校、ボランティア団体の協力により募金活動に努めました。

30 年度においても月形町キャラクターベルデくんのピンバッチを作成し、積極的に地域の各種イベントへ出向き募金活動を実施しました。

(2) 福祉振興事業

在宅生活に向けた様々な生活支援や相談について、積極的に情報提供・支援を行いました。

★ 在宅寝たきり老人等日常生活用品助成事業 (おむつ代助成)

助成実人数 31 名(前年比+3) 145 件(前年比+30 件)

新規 4 名(前年比-7)

★ 高齢者、障害者等危険個所の除雪「福祉除雪」サービス事業

認定世帯 27 世帯(前年比-10)

実施世帯 7 世帯(前年比-4) 実施件数 22 件(前年比-54)

作業 委託先 NPO 法人サトニクラス

★ 寝たきり老人等入浴事業利用促進

利用件数、相談等 なし

★ 団体助成等への協力

月形町老人クラブ連合会、月形町身体障害者福祉協会の事務を担当し事業の推進に努めました。また、月形町老人クラブ連合会、空知双葉里親会へ事業補助金の助成を行いました。

★ ふれあいいきいきサロン事業

企画、実施等について、町内会、ボランティア、民生委員協力のもと行いました。

(1)ふれあいどようび

在宅障がい者の方々に呼びかけし定期的に実施。ウォーキング、昼食会等を行いました。 21回実施 延べ参加人数 290名

(2)市北6サロン

市北6町内会の高齢者を中心に茶話会、昼食会等を実施しました。

12回実施 延べ参加人数 111名

(3)北農場1サロン

北農場1町内会の高齢者を中心に体操、レクリエーション、買い物バスツアー、昼食会等を実施しました。 12回実施 延べ参加人数 222名

(4)中和ふれあいサロン

新田・月ヶ岡地区の高齢者を中心にお茶会、レクリエーションを実施しました。

3月6日実施 22名参加

(5)赤川1ふれあいサロン

赤川1町内会の高齢者を中心にレクリエーション、講話、レクリエーション、昼食会や茶話会等実施しました。 11回実施 延べ参加人数 166名

(6)赤川3ふれあいサロン

赤川3町内会の高齢者を中心にレクリエーション、買い物バスツアー、昼食会や茶話会等実施しました。 9回実施 延べ参加人数 109名

(7)まんまるカフェ

0歳～就学前のお子さんを対象に、水遊びや親子でクッキングを実施しました。実施しました。 3回実施 延べ参加人数 69名

(8)男の料理教室

高齢者、若者男性に向けた調理と、栄養面を中心とした料理教室の実施をしました。 6回実施 延べ参加人数 54名

★ ひとり暮らし等高齢者の配食サービス事業（週3回実施）

対象者 30名(前年比+11名) 配食日数 153日

延べ配食数 2,268食(前年比+411) 新規申請 4名(前年比+1)

配食便り 毎月1回発行

ふれあい昼食会 3回実施 行事弁当 4回実施

★ 福祉有償運送事業

要介護、支援者、障害者の町内へ通院、買い物等について福祉車両での輸送や障害者への町外通院、移動支援を行いました。

登録実者数 127人(前年比+22人)、延べ運行回数 793回(前年比+82回)

★ 日常生活自立支援事業

道社協からの委託を受け、相談対応や申請、関係機関との調整等を行いました。

継続利用者 3名 利用件数延べ 48回

生活支援員 2名

相談件数 1件

(3) 在宅福祉サービス事業

介護保険、障害者総合支援法のもと要支援者等への身体介護、家事支援、通院介護等について利用者ニーズに配慮した人員体制をつくり、介護、支援の強化に努めてまいりました。今年度は利用者の減員が多く、苦しい経営となりました。また、より良いサービスを目指し事業所内・外研修会への全職員参加や、関係サービス機関との連携を図ってまいりました。生活支援サービスについては、広報やニーズ発掘等に努めましたが、利用されていない状況となっています。生活支援コーディネーター配置については、生活支援協議会の実施や地域包括支援センターや関係機関と連携し事業を進めてまいりました。

★ 訪問介護事業

(1) 高齢者

ケース人員 介護 6名 (新規1名)
総合事業 15名 (新規3名)
延べ件数 1,186回(前年比-101件)

(2)障がい者

ケース人員 居宅介護 12名(前年比0名) 延べ件数 1,327回(前年比-154回)
移動支援事業 6名 延べ件数 31回

★ 障がい者地域活動支援センター

地域で生活をする障がい者に様々な活動体験を通し、生きがいや生活の質向上につなげるサービスを提供しました。加齢による心身面での機能低下や、自閉症や若年性認知症等の利用者支援でより介助を必要とする利用者が多い中、職員3名を配置し専門知識の向上と活動内容の工夫を行いました。近隣の新篠津村・浦臼町も事業実施範囲のため、他町村からの家族相談や利用について連携支援体制を取りました。また、活動や昼食提供には定期的なボランティアの参加があり、地域社会との交流を深めてまいりました。

- ・契約人数 9名(前年比-1)
- ・延べ利用人数 1,115人 (前年比-32人)
- ・入浴延人数 609人(任意選択事業) (前年比+42人)
- ・送迎延人数 1,115人(任意選択事業)(前年比-32人)

★共生デイサービス

平成30年度より、町内の高齢者及び障害者、家に閉じこもりがちな者、生活困窮者等の日常生活に支障のある方々について、制度の垣根を越えて地域活動支援センターと一緒にデイサービスを提供しました。1名の方が利用し、心身機能の維持増進を図ることができました。

- ・契約人数 1名
- ・延べ利用人数 110人
- ・入浴延人数 62人

★ 生活支援サービス(有料による生活支援)

- ・登録者 2名

- ・利用申し込み 1世帯 2件
- ・サービス内容 買い物支援

★ 生活支援コーディネーター活動事業

ボランティアの養成や地域ニーズの把握や解決に向けて町民の方々と一緒に勉強会や事業を行いました。また、集いの場づくりや食堂運営による交流拠点の設置に向けた準備も進めていきました。

- ・アクティブボランティア養成研修 4回実施 5名修了
- ・生活支援協議会 4回実施
- ・生活応援フェア 1回実施
- ・視察研修 妹背牛町「わかちあいもせうし視察」 12名参加
- ・あずまし茶屋 12回開催 延べ229名参加
- ・あずまし食堂 9回開催

(4) 地域活動推進事業

ボランティアネットワークづくりの強化、資質向上を目指し、様々なボランティア活動への協力や紹介を行いました。また、地域福祉の住民ニーズについては、福祉ネットワーク協議会や研修等の開催をしました。

★ ボランティアセンター運営事業

住民によるボランティア活動の推進を行い、個人ボランティア登録、団体、関係機関へのセンター活動の周知やコーディネートを行いました。

センター運営会議 1回

広報発行 5月 全戸配布

研修会参加 2回 10名参加

研修会開催 ボランティアスクール(8・2月実施) 58名参加

ボランティアミーティング 22名参加

ボランティアセンター祭り 130名参加

町民向け傾聴講座 51名参加

アクティブボランティア養成講座 4回実施 5名受講

その他 年越し弁当贈呈事業(歳末たすけあい助成)

ボランティア依頼等の紹介 3件

★ ボランティア団体への育成及び活動促進

活動団体への活動助成

3団体へ補助金助成、4団体へ老人世帯除雪援助事業の交付等を行いました。

学童・生徒のボランティア活動普及事業への協力

月形小・中学校生総合学習実施、研修会等の情報提供をいたしました。

★ 民生・児童委員・行政区長、町内会との連携強化

民生児童委員協議会の参加

各行政区・団体への地域状況把握

★ 地域福祉ネットワーク推進協議会事業

推進会議 4回 事業計画策定、情報交換

研修等 新任研修会 2回実施 (39名参加)

世代間交流事業 3回実施 (218名参加)

福祉従事者等スキルアップ研修(道キャリアパス支援事業)11月実施

★地域見守り推進事業

見守り実施状況

対象者 73名 見守り回数(訪問、電話、情報) 1297回

サポーター 12名(28名担当)

研修状況

サポーター意見交換会 4回

研修会参加 1回

研修開催 「月形町福祉でまちづくり推進フォーラム」63名出席

(5) 社会福祉協議会の充実と財政基盤の強化

理事会、評議員会を開催し組織、並びに事務局体制の充実に努めました。

職員については、毎月所内の研修実施、所外研修等に参加し、知識向上に努めました。

社会福祉法人の公益的な活動については、関係団体との協議やあずまし計画の評価につ

いて住民や関係機関よりご意見をいただきながら推進してまいりました。

★ 評議員会、理事会、事務局体制の強化

会議開催状況

理事会 4回

評議員会 2回

定期監査 4回

決算監査 1回

運営協議会 3月実施

★ 役職員の研修及び調査活動

8月 地域の絆と支え合い活動空知地区セミナー 役員4名参加

北海道社会福祉大会 役員4名参加

10月 地域に理解され支持される社協づくり研修 役員4名参加

ボランティア愛らんど 役員3名参加

11月 北海道社会福祉協議会主催 法人役員専門研修 役員4名参加

空知管内社協介護保険学習会 役員2名参加

★ 関係機関、福祉団体との連携促進強化

行政区、町内福祉施設との連携を図り、会議への参加をしました。

★ 社会福祉法人等との連携

8月 あずまし会議開催 7法人参加

★ 地域福祉実践計画実施に伴う住民懇談会の開催

計画実施の進捗状況について評価を受け、新たなニーズや社協の役割について各関係団体と協議しました。

・あずまし推進会議 9月、2月実施

★ 交流センター指定管理

年間利用者数 12,839名(前年比+268名) 年間利用回数 873回(前年比-42回)

葬儀、法事等 25件(前年比+13回)

職員の状況

平成30年4月31日付退職

事務局職員（臨時職員） 會田 早苗

平成30年6月30日付退職

地域活動支援センター支援員 杉山 勝彦

平成30年10月31日付退職

活動支援専門員 坂田 尚寛

平成30年11月1日付採用

地域活動支援センター支援員（嘱託職員） 中濱 仁史

平成31年3月15日付退職

地域活動支援センター支援員（嘱託職員） 中濱 仁史

平成31年3月31日付退職

地域活動支援センター支援員 三谷由希子